

# 財政運営プログラム進捗状況

～平成27年3月時点～

## 《財政運営プログラムの定期的見直しについて》

平成26年度は定期的な見直しの該当年度でありましたが、地方交付税に関しては縮減幅の緩和を含め様々な見直し案が国から出され、中長期的な見直し作業を行うことが厳しい状況となりました。

そこで、地方交付税に関して一定の見通しが立った時点で見直しを行うこととし、今年度は見送ることと致しました。

プログラムの取り組みについてですが、上記のとおり国から地方交付税の縮減幅が緩和されるような見直し案が出ていますが、具体的に示されておらず、また、依然として国内全体の景気が持ち直している状況ではなく、本市としても税収等歳入面が好転する環境になっていないため、今後も引き続き取り組みを緩めることなく実行してまいります。

\*\*\*\*\*

## 《財政運営プログラム5本柱進捗状況について》

プログラムに示してあります5つの柱（人件費の削減、施設の統廃合、普通建設事業費と維持補修費の規模見直し、事業見直し、成長戦略の展開）についての取り組み状況及び平成27年度当初予算編成時の取り組み状況について報告いたします。

※  内は、財政運営プログラム策定後の取り組み状況を掲載してあります。

※各項目の『 』内の金額は平成24年度一般会計当初予算と比較した削減額となっています。

## 1 人件費の削減

### 【プログラム策定後の取り組み状況】

平成26年3月31日に「第3次定員適正化方針」を策定し、平成32年4月時点の全職員数の目標値を1000人以内と致しました。

ここで、消防局と診療所については現定数（消防局：148人、診療所：39人）を基本と考えるため、一般職員を813人以内と致します。

目標達成のための方策として、引き続きアウトソーシングに取り組むとともに、新たな公共サービスの導入の研究を行います。また、組織・機構の見直しについても取り組んでまいります。

「H24年度とH32年度比較：職員数 132人減、人件費（決算額） 約10億円減」

### 【平成27年度当初予算編成時取り組み状況】

#### 『約4.6億円削減』《平成26年度比：増減なし》

平成27年度当初予算編成時における職員数については、平成24年度職員数から77名（平成26年度からは21名）の削減を見込んでいる。

## 2 施設の統廃合

### 【プログラム策定後の取り組み状況】

平成25年2月に「薩摩川内市公有財産利活用基本方針に基づく財産仕分け・利活用方針」を策定致しました。

この中で、財産仕分け・利活用方針に関する基本的な考え方や、区分別処分財産等を示し、現在施設管理に要する管理経費の縮減に努めているところです。

また、公共施設マネジメントを具体的に展開していくため、平成27年度中に「薩摩川内市公共施設白書」を公表し、その後、本市の総合的な施設の在り方や個別の施設に対する方針等を定め、真に必要な財産のみ所有していくことで施設管理に要する経費の最適化を図ってまいります。

「H24年度とH32年度比較：保有施設数 165施設減、施設管理経費（決算時） 約4億円減」

### 【平成27年度当初予算編成時取り組み状況】

#### 『約1.1億円削減』《平成26年度比：約0.1億円削減》

方針通り閉鎖した施設については、川内福祉作業所、入来福祉作業所、吉川小学校の3施設であり、平成26年度時点で36施設を整理したところである。

### 3 普通建設事業費と維持補修費の規模見直し

#### 【プログラム策定後の取り組み状況】

大型投資事業である普通建設事業費については、プログラム策定時に優先的に目処をつける主な事業として位置づけておりました以下の事業については、完了致しました。その他の事業については引き続き取り組んでまいります。

課名	事業名
建設整備課	横馬場田崎線道路改良事業
防災安全課	防災行政無線デジタル化整備事業
消防総務課	消防庁舎建設事業
消防総務課	消防救急無線デジタル化整備事業
教育総務課	小学校特別教室棟新增築事業（永利）

また今後優先的に目処をつける主な事業に、次の2事業を追加いたします。

課名	事業名
企画政策課	樋脇グラウンド・ゴルフ場整備事業
教育総務課	東郷地域小中一貫校整備事業

維持補修費については、内水対策や橋梁、公園等について長寿命化計画を策定又は更新しましたので、今後はそれぞれの計画と現状をみながら優先順位を付け取り組むこととします。

なお、それぞれの年次事業展開と致しましては、普通建設事業費と維持補修費で確保できる事業規模の枠内において、バランス調整を図りながら行ってまいります。

## 4 事業見直し

### 【プログラム策定後の取り組み状況】

平成27年度当初予算から行政経営システムを導入したことに伴い、組織を横断的に見通せることになりプログラム策定時と違う視点で事業見直しを行うことや、事務事業評価を効果的に行い削減や廃止のみ活かすのではなく、限られた資源で施策を効果的に展開できる事業の創設が期待されます。

現在、見直し対象としている事業については、引き続き見直し方針を堅持しつつ、行政経営システムで行われる事務事業評価結果を踏まえ取り組んでまいります。

「H24年度とH32年度比較：事業見直し効果額 約6.9億円減」

### 【平成27年度当初予算編成時取り組み状況】

#### 『約3.6億円削減』《平成26年度比：約2.1億円削減》

※《 》は担当課名、【 】は取組内容

#### (1) PG通り着手した事業：25事業（平成25年度からの累計：97事業）

～主な事業～

- (ア)《商工振興課》中小企業対策利子補助金【縮小】
- (イ)《林務水産課》森のめぐみ産地づくり事業（市単）【廃止】

#### (2) 着手年度を前倒しした事業：12事業（平成25年度からの累計：31事業）

～主な事業～

- (ア)《環境課》(Ⅲ期以降→)PCB含有廃棄物処理事業【縮小】
- (イ)《高齢・介護福祉課》(Ⅱ期→)高齢者おでかけ支援事業【ポイント制へ移行】

## 5 成長戦略の展開

### 【プログラム策定後の取り組み状況】

地域成長戦略展開の方針として、毎年度地域成長戦略の趣旨に合致する事業の選定を行い、地域成長戦略アクションプランとして編成し、国が示す「地方創生」政策の動向を注視しながら推進致します。

成長戦略設定分野の中の「次世代エネルギービジネス」や「観光ビジネス」は、現在取り組みを行っている目標へ向かって推進し、「食品ビジネス」や「医療介護周辺ビジネス」については、平成26年度に設置した「地域成長戦略ビジネス研究会」の検討結果をもとに実証事業を実施するなど、地域事業者の新たな事業展開を促し、支援体制などの環境整備を行ってまいります。

【平成27年度当初予算編成時取り組み状況】

**『約3.9億円（うち新規・拡充分 約2.5億円）計上』**

※「新規・拡充分」には、平成26年度において「新規・拡充分」に位置づけられた事業が含まれます。

～分野別主な事業～

(1) 食品ビジネス

六次産業化推進事業

(2) 次世代エネルギービジネス

LED街路灯導入事業、見守り支援サービス実証事業、甌島蓄電池導入共同実証事業

(3) 医療・介護周辺ビジネス

地域成長戦略ビジネス創出支援事業

(4) 観光ビジネス

ぽっちゃん計画プロジェクト事業、セールス事業、ツーリズム事業

きやんせ博覧会事業

(5) 戦略ビジネス分野を創出するための支援体制

ビジネスマッチング事業、企業連携協議会運営事業、(仮称)薩摩川内市産業支援センター設立マネジメント事業